

工事かわら版

浜松医療センター新病院整備工事

Vol.7
令和3年10月号

●工事状況

地下躯体の工事の完了が目前となり、建屋範囲のすべてが土の茶色からコンクリートの灰色になりました。そして、免震装置の取付も順調に進み、1階床の躯体工事が進んでいます。1階床では、小梁のPC化や大梁の地組など、様々な工夫を凝らして短工期での高品質化を図っています。このような工夫は施工者のアイデアを結集させた、腕の見せ所です。着想から施工開始までに幾度なく打合せを行い、実際に施工開始後からも、協力業者とONE TEAMで改善し続けることで、貪欲に良い構法を突き詰めています。

定点写真



●壁の向こうは・・・？（工事紹介）

10月末、東側に黄色のクレーンを設置し、計画の常設の揚重機が揃いました。『ポテイン』という名前の水平式のタワークレーンで、東側には新病院棟1F+27mの位置に77000Vの高圧線があり、離隔4mを設定して水平移動した際に接触しないようにしております。揚重する際にクレーンが起伏することはないので、高圧線直下でも安全に資材を揚重することが可能になり、現場作業員の作業効率UPと省人化が図れます。東側での揚重作業は常に、インフラとの隣り合わせですが、今後も「絶対インフラ事故を起こさない」という意識で常に現場作業員一同、工事を進め行きます。

水平式タワークレーン「ポテイン」



●工程

令和3年度

		10月	11月	工事進捗率
上部躯体工事	小梁・犬走りPCI事・大梁地組・スラブ工事			
基礎工事	ピット工事 免震基礎・免震外壁工事・免震装置据付			
設備工事	外構工事（各種引込等）・スリーブ工事			

●コラム《語り部カー》

弊社の取り組みとして、「語り部カー」と呼ばれる、不安全行動を体験し安全意識を高めるための講演を行っています。今月はその語り部カーをお呼びして、職人の皆さんに体験してもらいました。高さのある場所から重量物を落下させ、ヘルメットのある場合と無い場合でどのような違いがあるのか、安全帯で吊られるとどのような感覚になるのか、実際に体験してみると安全意識が高まります。普段何気なく渡っている足場や、階段、坂道などでも危険な場所はたくさんあります。実際の作業中では、事前に危険だと認識していない状態で、思いもよらぬことが起こり得ます。常に気を抜かず安全の意識を持つことが大切です。ご安全に！



語り部カー体験

みんなでベクトル合わせ ものづくりでONE TEAM
壁の向こうは命の現場！

工事かわら版を毎月発行します。次回は11月下旬です。
発行：清水・須山・中村組特定建設工事共同企業体
工事のお問い合わせはこちらまで TEL:053-488-5602